



2022年度 「SBIR推進プログラム」事業 公募説明資料

この資料は、「SBIR推進プログラム」事業への応募をご検討されている事業者のみなさまに最低限必要な重要情報を記載しております。

応募に際しては、公募要領をはじめとする関係書類を熟読ください。

**国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部 プラットフォームグループ**

1. 事業の背景と目的

日本版SBIR(Small Business Innovation Research)制度

- 社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等を支援
- 内閣府を司令塔として省庁横断的に実施する制度



SBIR推進プログラム

- 内閣府ガバニングボードにより決定された研究開発課題に取り組む研究開発型スタートアップ等が実施する研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目指す

福祉課題（「課題解決型福祉用具実用化開発支援事業」より移管）

- 福祉用具の技術向上に資する実用化研究開発を支援
- 高齢者、障害者及び介護者のQOLの向上を目指す

2. 事業スキーム図

〈日本版SBIR制度〉



3. 事業の内容

フェーズ1 (PoC・F/S支援)

事業化に向けて必要となる基盤研究のための
概念実証(PoC)や実現可能性調査(F/S)

NEDOからの支援

- ・事業期間：原則として1年間以内
- ・委託費：1,500万円/件・年以内
- ・事業形態：委託
- ・NEDO負担率：100%

フェーズ2 (実用化研究開発)

概念実証や実現可能性調査を完了している
技術シーズの実用化に向けた研究開発

NEDOからの支援

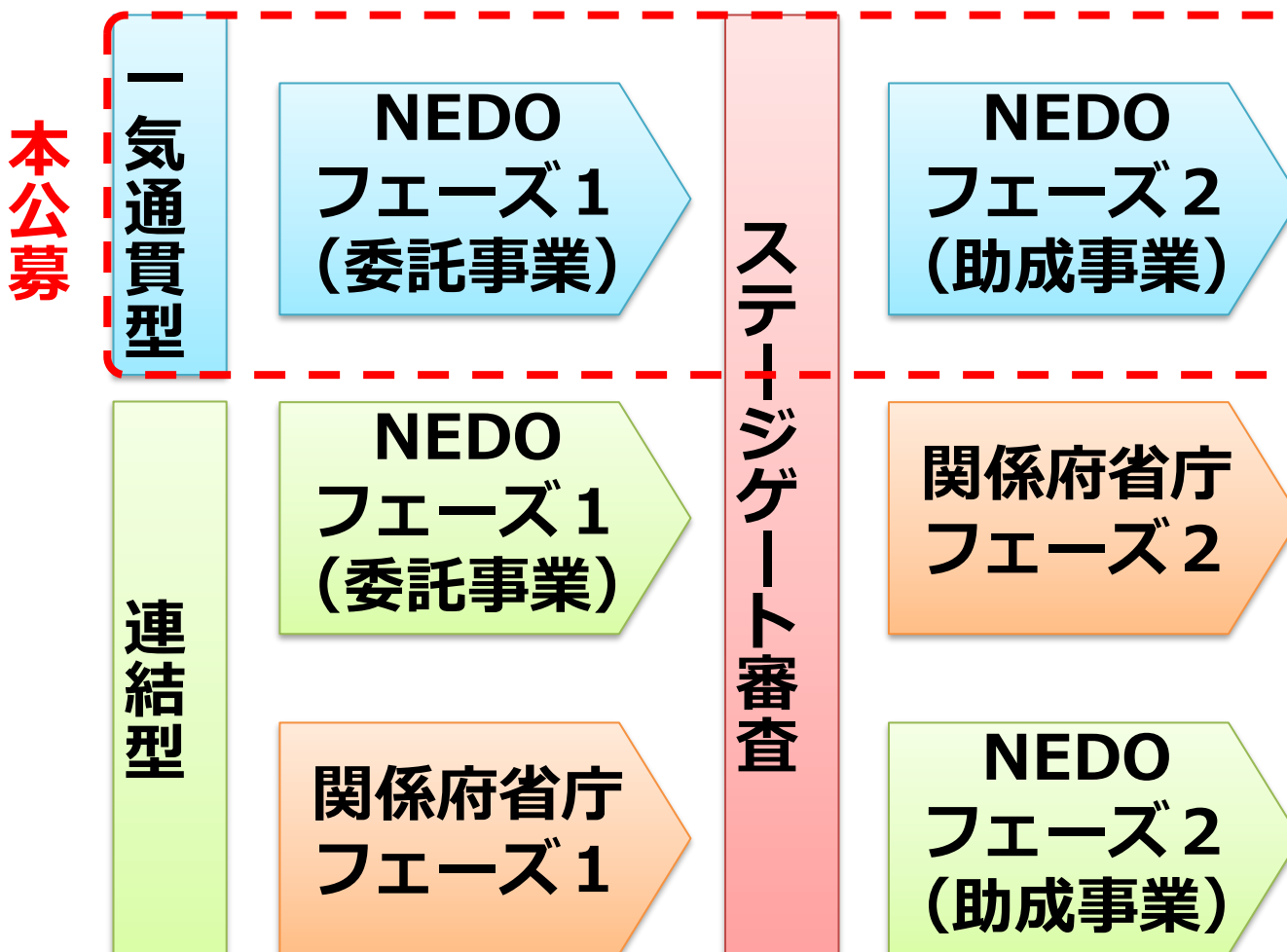
- ・事業期間：原則として2年間以内
- ・1テーマあたりの規模：原則として7,500万円/件・2年以内
- ・NEDO助成率：2/3以内(NEDO負担額：5,000万円/件・2年以内)
- ・事業形態：助成

4. ステージゲート審査

◆優れた研究開発課題を継続的に支援することを目的とした段階的審査

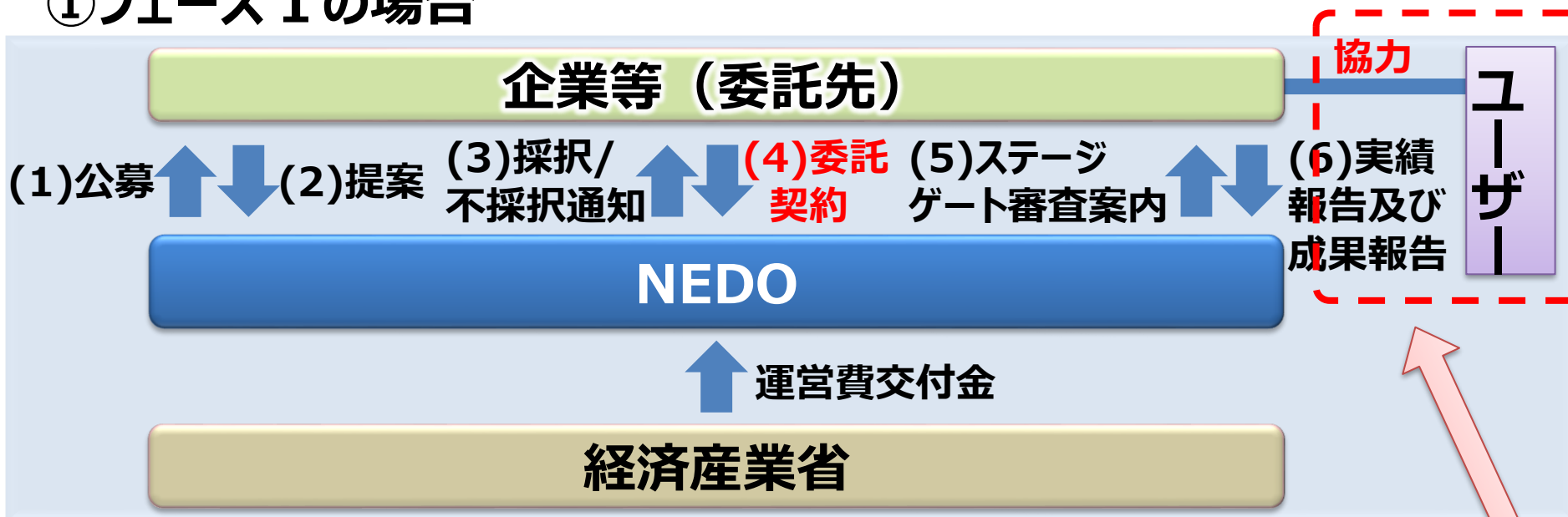
一気通貫型：継続支援をNEDOによる本事業内のみで実施

連結型：関係府省庁等で実施する指定補助金等事業と接続



5. 実施体制

①フェーズ1の場合



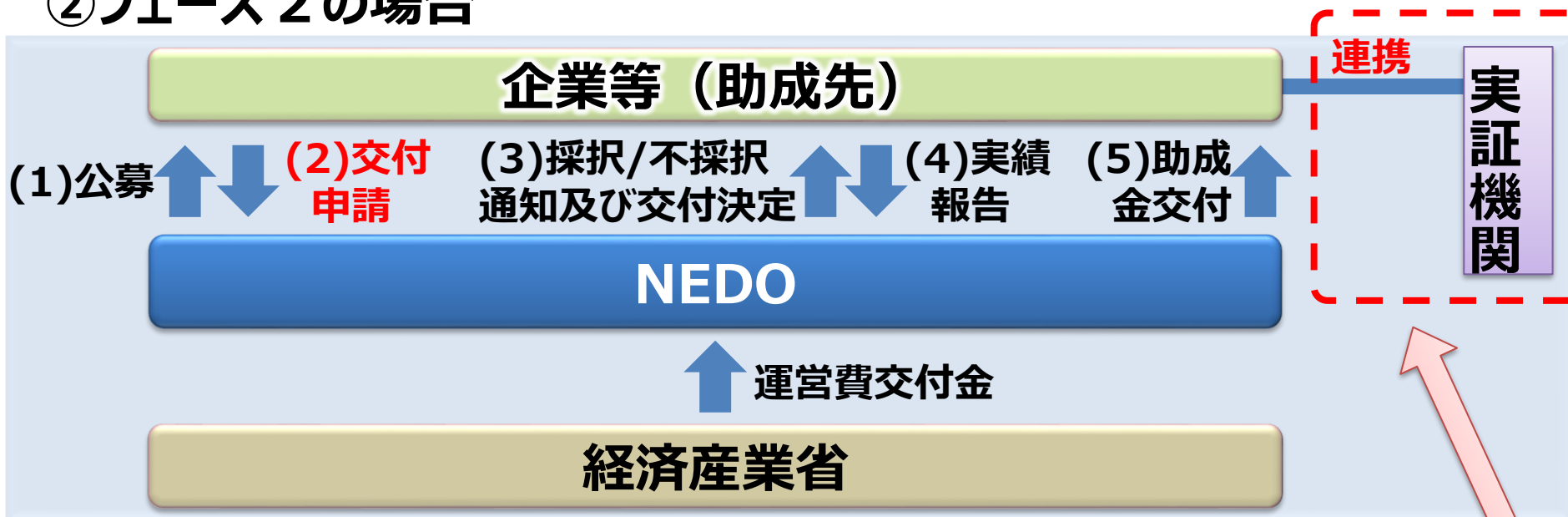
- 企業等（委託先）がNEDOと業務委託契約を締結して実施
- 1者もしくは複数者での体制で事業を実施可能
- 申請費用は代表となる方の費用が全体の対象費用の50%以上とする

研究開発課題 6. 福祉課題における実施体制

- 的確なユーザーニーズの把握や製品の安全性を確保するため、医療機関や介護・福祉施設等のユーザーとの協力体制の下で研究開発を行う体制をとっていることが望ましい

5. 実施体制

②フェーズ2の場合



- 交付規定に従い、交付申請書の記載事項に基づいて実施
- 1者もしくは複数者での体制で事業を実施可能
- 申請費用は代表となる方の費用が全体の対象費用の50%以上とする

研究開発課題 6. 福祉課題における必須の要件

- 福祉用具に対するユーザーニーズが的確に反映され、速やかな実用化導入を図るために、開発体制には実証機関を含み、それら実証機関のユーザーを対象とした実証試験を行うこと

6. 本事業対象費用

(1) 機械装置等費（生産設備は対象外）

土木・建設工事費、機械装置等製作・購入費、保守・改造修理費

(2) 労務費（人件費）

研究員費、補助員費

(3) その他経費（固定資産登録しないもの）

消耗品費、旅費、外注費、諸経費

(4) 間接経費（フェーズ1）

(5) 再委託・共同実施費（フェーズ1）、共同研究費（フェーズ2）

- 本事業で実施される研究開発に直接必要な費用のうち、本事業のためだけに使用するもの
- 本事業以外の事業でも使用するものは対象外

7. 応募対象事業者の要件

- (1) 日本に登録されている**中小企業等**であること
- (2) 事業に必要な技術、資金、管理体制等を有していること
- (3) 前職の離職時に前職と結んだ念書・契約書等の制限条項に抵触していないこと
- (4) 反社会的勢力、あるいはそれに関する者との関与がないこと

- 学術機関等は再委託先・共同実施先（フェーズ1の場合）、共同研究先（フェーズ2の場合）として参画可能
- 大企業や海外企業・海外機関等は、参画できません

研究開発課題6. 福祉課題における実証機関の設定（フェーズ2）

- 実証機関を設定することが必須の要件です

8. 対象となる研究開発課題

番号	フェーズ1	フェーズ2	研究開発課題名
1	○		CO2排出量を削減する次世代の高効率物流を実現するドローン技術の開発
2	○		プラント・建設物等の屋内点検の省人化・高精度化を実現する技術の開発
3	○	○	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
4	○		災害現場、パトロール等にて活用できる全天候型屋外運用ロボットの開発
5	○		災害現場における救助活動、瓦礫撤去等への活用が可能かつ隊員の負担を軽減する「PAS（Power Assist Suits）」の開発
6	○	○	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発

研究開発課題 6. 福祉課題における対象

- 研究開発課題の対象は、高齢者、障害者及び介護者を指します

9. 重複に関する留意事項

- (1) 同一テーマで、複数フェーズへ同時に提案することはできません
 - (2) 同一提案者が、複数のテーマで提案することは可能です
 - (3) 採択に至った場合でも、委託費・助成金の交付額は審査の結果及び予算の制約等により提案額から減額することがあります
-
- 「不合理な重複」、又は「過度の集中」が認められる場合には、採択を行わないことがあります。また、それらが採択後に判明した場合には、採択取り消し又は減額することがあります
 - 他の競争的研究費や、その他の研究費の応募・受入状況、所属機関・役職に関する現況について、応募書類や共通システムに事実と異なる記載をした場合は、研究課題の不採択、採択取消し又は減額配分とすることがあります

10. e-Radへの登録

e-Rad（府省共通研究開発管理システム）：
各府省で横断的に活用する研究開発管理に係るオンラインシステム

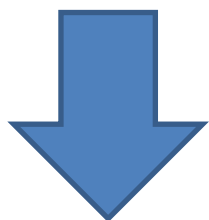
- e-Radへの登録が無い場合には、本公募の審査対象となりません
- **登録には日数を要する場合があるので、お早めに登録をお願いいたします**

- e-Rad ポータルサイト <http://www.e-rad.go.jp/>
- e-Rad 利用可能時間帯：平日、休日共に0:00～24:00
(国民の祝日及び年末年始も、利用可能です。ただし、サービス時間内であっても、緊急のメンテナンス等により、サービスを停止する場合があります)
- e-Rad ヘルプデスク
電話番号：0570-057-060 (フリーダイヤル)
受付時間：平日9:00～18:00 ※国民の祝日及び年末年始を除く

1 1 . 応募方法

【入力項目】

- ☐ 研究開発課題番号
- ☐ 事業の名称
- ☐ 提案者名
- ☐ 事業の概要（200字～250字以内）
- ☐ 利害関係者の有無
- ☐ 連絡責任者＜提案者＞：氏名・所属・役職名・電話番号・メールアドレス



全てのファイルを一つのzipファイルにまとめて提出

➤ アップロードファイル名は半角英数字

受付期間：2022年5月26日（木）～ 2022年6月27日（月）正午迄

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/0w2oankzmfgx>

1 2. 審査の基準

研究開発課題 6. 福祉課題における審査項目

<技術審査>

- (1) 対象研究開発課題との適合性
- (2) **安全性の確保された計画**
- (3) 提案内容・研究計画の実現可能性
- (4) **研究開発の実施体制**
- (5) 知的財産の優位性
- (6) 費用対効果

<事業化審査>

- (1) 市場ニーズの把握
- (2) 開発製品・サービスの優位性
- (3) 事業化体制
- (4) 事業化計画の信頼性
- (5) **ユーザーが求める価値実現、
販路開拓への事業化計画の妥当性**

※ 必要に応じて資料の追加やプレゼンテーション審査、財務状況等のヒアリングを実施する場合がございます

12. 審査の基準

その他の加点について

(1) ワーク・ライフ・バランス等推進企業に対する認定等の状況（フェーズ1）

- 女性活躍推進法に基づく認定企業
 - えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業
- 次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業
 - くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業
- 若者雇用促進法に基づく認定企業
 - ユースエール認定企業

(2) 事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明をした場合の対応（フェーズ2）

- 賃上げを実施することを表明した企業等に対して加点

13. 今後のスケジュール（予定）

スケジュール	イベント
5月26日(木)	公募開始
6月15日(水)	公募説明会
6月27日(月)12時	公募締切
7月中旬～7月下旬（予定）	事前審査（書面審査）
8月上旬～8月中旬（予定）	事前審査（プレゼンテーション審査）※対象者のみ
8月下旬（予定）	本審査（契約・助成審査委員会）
9月上旬（予定）	委託先・助成先の決定
10月上旬（予定）	契約・交付決定通知の発出
2023年6月頃（予定）	ステージゲート審査（フェーズ1 採択事業者のみ）
2023年9月頃まで（予定）	フェーズ1 事業終了
2024年9月頃まで（予定）	2022年度採択フェーズ2 事業終了
2025年9月頃まで（予定）	ステージゲート審査通過フェーズ2 事業終了



お問い合わせ先

N E D Oイノベーション推進部
プラットフォームグループ
sbir-r3@nedo.go.jp

- ご不明点は上記メールにてお問い合わせください
- 6月22日（水）まで問い合わせを受け付けております

・NEDOホームページ	: https://www.nedo.go.jp/
・本公募ホームページ	: https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100359.html
・公募要領	: https://www.nedo.go.jp/content/100946915.pdf